



パラナ州マリンガに全国が注目する 新病院が開設

昨年11月25日、日系人も多く暮らすパラナ州マリンガ市に、不妊治療専門の婦人科マテルベビー (Materbaby) と眼科プロビゾン (Provisão) を併設したアウモジン病院が開設された。同院のジルベルト・アウモジン院長は、フェルチクリンの中野英二医師とは同じ専門分野で切磋琢磨して来た20年来の友人。オープニングセレモニーには中野医師もお祝いに駆けつけた。

アウモジン医師と中野医師は、毎年世界各地で開催される学会を訪ね、共同研究発表を行う他、海外の科学雑誌に毎年新しい研究成果を報告してきた。インターネットが普及する前は、現在よりも海外からの医療機器を購入してブラジルに導入するのが難しく、当時はお互いが海外に行く時、協力し合って新しい技術を取り入れることに懸命に取り組んできた。

中野医師はオープニングの日から3日間のマリンガ滞在中、院内のポッドキャストに参加。その中で、

「私が医師となった30年以上前、ブラジルの不妊治療分野はまだ黎明期でした。アウモジン医師や同じ目標を持った仲間がいたことで、不妊治療のアカデミック改革を行い、新しい分野を伸長することができました」

とこれまでの歩みを振り返った。

中野医師は日系人の強みを生かし、特に日本のクライオトップ法による胚移植の技術を導入することでブラジルの不妊治療を大きく発展させた。「それぞれの医師の特性を生かし、情報や技術を共有することで、今日のブラジルの不妊治療の現場がある」と説明した。

マテルベビーは安全性と快適さを重視し、同日退院の治療を受けられるのが特徴。眼科プロビゾンは、元ブラジル眼科学会会長 (2019-2020) である眼科医の妻エジナ・アウモジンが責任者を務める。

パラナ州は兵庫県、マリンガ市は兵庫県加古川市と姉妹都市提携しており、日本との交流が深い。中野医師とアウモジン医師は不妊治療における日本の技術交流を通じて、日伯交流を温め続けている。

※『フェルチクリン』の中野英二医師に解説していただきました。



《中野医師(左)と
アウモジン医師》

フェルチクリン FERTICLIN

Av. Indianópolis, 1960 - Planalto Paulista - São Paulo - SP

Tel: (11) 5581-2045 / 5581-3566

 (11) 99666-1455

www.ferticlin.com.br / contato@ferticlin.com.br

